



2023年11月13日

各位

会社名 トヨクモ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山本 裕次  
(コード番号: 4058 東証グロース)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 石井 和彦  
[ir@toyokumo.co.jp](mailto:ir@toyokumo.co.jp)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年2月13日に公表した2023年12月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正 (2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,330	百万円 720	百万円 720	百万円 490	円 銭 46.26
今回修正予想 (B)	2,430	840	840	580	54.76
増減額 (B - A)	100	120	120	90	-
増減率 (%)	4.3	16.7	16.7	19.0	-
(参考) 前期実績 (2022年12月期)	1,937	639	638	427	42.19

(注) 当社は、ストックオプションの行使により、発行済株式数が増加しております。また、2023年5月12日に譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、2023年9月30日時点における影響を考慮しております。

#### 2. 修正の理由

当社は、「すべての人を非効率な仕事から解放する」というミッションの下、企業向けクラウドサービスを開発し、非効率な仕事から働き方を変革するDXサービスを提供してい

ます。

今期においては、サイボウズ株式会社の業務アプリがつかれるクラウドサービスである kintone が順調に拡大する中、当社の kintone 連携サービスも認知の広まりやクロスセルなどが奏功し予想を上回って推移したことに加え、安否確認サービスにおいては引き続きテレビ広告などのマス広告を中心に広告宣伝費を積極的に投下し認知度の拡大を図ったこと、また関東大震災から 100 年が経過し、地震などの自然災害が発生した際でも安定して稼働するサービスとして訴求に努めたことから、前回発表予想と比べ 100 百万円増加し、売上高は 2,430 百万円となる見通しです。費用面につきましては、人件費において一部採用が未達となったことから計画より減少する見込みです。

その結果、利益項目につきましては、営業利益は前回発表予想と比べ 120 百万円増加し 840 百万円、経常利益は同比 120 百万円増加し 840 百万円、当期純利益は同比 90 百万円増加し 580 百万円となる見通しです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上